

善行雑学大学

第 243 回講座のご案内

- 主催: 善行雑学大学
- 後援: 藤沢市教育委員会

- 日 時: 2019 年 8 月 18 日(日) 午後 2 時～4 時
- 会 場: 六会公民館 3 階ホール
- テーマ: 『遺伝子解析と遺伝子操作で実証する進化』
- 講 師: 赤坂 甲治氏 (東京大学名誉教授・特任研究員)

遺伝情報は DNA の塩基配列にあり、形質の変化はランダムな塩基配列の変異がもたらすのは紛れもない事実である。ダーウィンはランダムな変異が自然選択されることにより進化が起きると考えた。しかし、例えば、文学作品の文字をランダムに置き換えても、より優れた作品になるとは思えず、やがて意味不明の文章になるのは目に見えている。遺伝情報も同様である。これをダーウィンのジレンマという。次世代シーケンサー (DNA の塩基配列を読み取る装置) の登場により、遺伝情報の読み取りが迅速になり、あらゆる生物のゲノム (遺伝子と染色体の合成語で遺伝情報の全体) を比較することが可能になった。また、分子発生生物学の進歩により、ほとんどすべての生物は、すがた形が違っていても同じしくみで生命活動を営み、同じ遺伝子を使って体を作り上げていることがわかってきた。同じ遺伝子をもつにもかかわらず、多様な生物がいるのはなぜだろう。比較ゲノムと発生生物学は進化学に大きな変革をもたらし、実験で進化を実証することまで可能になってきた。

本講演では最新の進化研究について、研究者ではなく市民の視点で紹介する。また、無生物から生物への進化のしくみと、その証明方法についても合わせて紹介する。

お問い合わせ先: 宮田英夫 TEL:0466-82-0517

※会員以外の一般の方は資料代他として 500 円が必要となります。

《次回 第 244 回講座のご案内》

- 日時: 2019 年 9 月 15 日(日) 午後 2 時～4 時
- 会場: 善行公民館ホール
- テーマ: 即位の礼と大嘗祭～当家庭来の絵巻「大嘗会調度絵巻」紹介
- 講師: 伊藤 一美氏 (鎌倉考古学研究所理事)

善行雑学大学会員募集中: 何時でも会員になれます。(年齢、性別、住居地 不問)